

平成 29 年度ヘルスリテラシー特別公開講座

青森県立保健大学では「健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート活動」の一環として、特別公開講座「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

認知症サポーター養成講座とは、厚生労働省が推進する認知症サポーターキャラバンの一環として、都道府県、市区町村など自治体等と協働して実施する研修であり、認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを全国で多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指します。特に青森県は、若者のサポーター数が足りないため、保健大学学生及び地域住民をサポーターとして養成することにより、青森県のヘルスリテラシーの向上に資します。

日 時:平成 29 年 10 月 28 日(土)10:30~15:30

場 所:青森県立保健大学 A 棟 1 階 A112

内 容: ①認知症サポーター養成講座 10:30~12:00

- ・認知症の基礎知識(講義)
- ・認知症を地域で支えるとは(演習・講義)

②ステップアップ講座 13:00~15:30

- ・講 話1 「認知症の理解を深める」
- ・講 話2 「認知症の発症リスクを減らす」
- ・話題提供 認知症サポーターの活動事例

<実施結果>

講座は午前「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に関する基礎知識を学び、グループワークを行いました。各グループで話し合い後、代表者が発表しました。発表は認知症について、自分の日常生活や職務上での体験を踏まえた内容もあり、参加者は皆、真剣に聞いていました。また、受講した 29 名の方に養成講座修了生の証であるオレンジリングを配付しました。午後は養成講座修了生を対象とした「ステップアップ講座」を開催し、26 名の方が受講しました。前年度以前に認知症サポーターとなり、より知識を深めるためにステップアップ講座に参加した方もいらっしゃいました。最後に本学サークルの本学サークルのソーシャルワーク研究会が認知症サポーターとしての活動を紹介し、終了しました。

